

所長の模型部屋（第13回）

みなさん、こんにちは。今回は陸上自衛隊戦車の歴史シリーズの第1回として、往年の方々には懐かしい戦車を紹介します。今回はその1回目として、

M24戦車

です



この戦車は、米軍からの供与で昭和27年～昭和50年頃まで使用されていました。

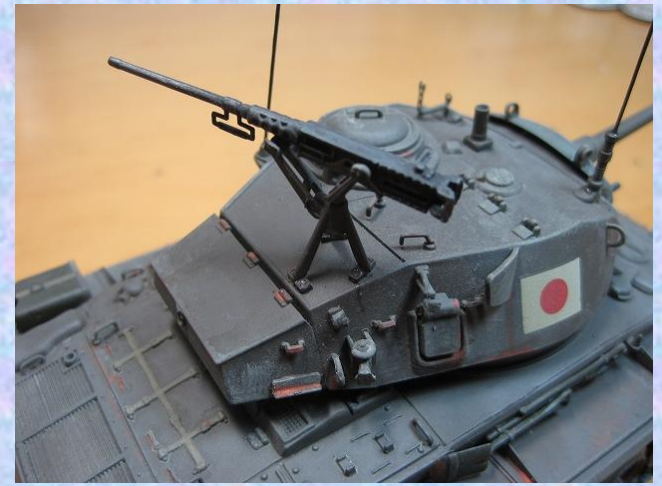
キットはイタレリ社で、キットにデカールが付いていたのですが、日の丸の白と赤が逆で、びっくりしました。まだまだ日本の国旗は世界に知られていないのだなと痛感した瞬間でした。（そんな大げさな。現在は改修された物が売られています。）

陸曹候補生の頃、休日に隊舎の中でこのキットを作ったのですが、その頃この戦車で戦車マンとして育った小隊陸曹が当直幹部として勤務しており、「齊藤、懐かしい戦車作っているな。この戦車はなあ・・・」と思い出話をしてくれました。ガソリンエンジンを積載しており、排気音がカン高かったといっていました。速度も速く、まさに軽快に走る戦車であったそうです。積載されている工具もスナップ・オン社製で、材質が素晴らしくタフで、どんなに叩いても壊れなかったそうです。正規には5人乗りだったのですが、ほとんど4人で乗っていたそうです。

今回は、小隊陸曹の話から、第7戦車大隊配備の状態をキット化しました。（もしかしたら配備されていたのはM41だったかも知れませんが・・・）今回は小隊陸曹の話信じました。



キットにエッチングパーツを使用してディテールアップしています。メーカーは何処だったか忘れまして。フェンダーステーやライトガード、重機関銃取り付け台座部等、それだけでも見栄えがします。



塗装は、タミヤアクリルのオリーブドラブで、表面にパステルコンテを薄く伸ばしています。錆の赤茶色の他、砲弾のカスから発生する緑青を表現しました。ちょっとオーバーでしたね。



表面は徹底してツヤ消しとドライブラシで退色を表現しました。もっとグレーにしても良かったと反省しています。キャタピラは硬いので苦労しましたが、ラッカーブラックを吹き付けて茶色パステルとバフを塗りつけています。



小さいですが、なかなか作りこたえのある戦車でした。イタレリは部品数が多くまた、細い部品も多いため注意が必要ですが、素晴らしいキットです。さて次回は、歴史シリーズ第2弾

M41戦車です。



ではまた・・・